

Structure Kansai No.122 2014.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

2014年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会 5月23日開催



「平成の大修理を終え 姿を現した姫路城」
(2014年6月16日撮影)



関西支部 支部長

JSCA関西支部活動について
(株)大林組
安井 雅明

日頃はJSCA関西支部の活動にご協力頂きありがとうございます。近年私たち構造設計を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。特に東日本大震災以降、想定外を想定すること、既存建築物の耐震化促進、非構造部材への関与など、ますます構造設計者の役割と責任が大きくなっています。また防災や安全性の確保は極めて重要ではありますが、建物は構造技術だけで成り立つものではないの言うまでもありません。建築・構造を含めたトータルデザイン力が構造設計者に求められています。関西支部では技術力とデザイン力の双方を磨き、私たち構造設計者がその職能に自信と誇りを持つこと、また一般の社会の方々にも理解して頂くことを目標に活動を行っています。今年度はJSCA法人化25周年に当たり、関西支部においても対応して講演会、構造デザイン発表会、パネルディスカッションなどを企画しています。また来年1月には阪神淡路大震災から20年になり、記念行事も予定しています。会員の皆様にとって有用な行事を提供したいと考えています。今後とも支部活動にご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。



関西支部 副支部長

構造設計一級建築士について
(株)能勢建築構造研究所
横田 友行

日頃はJSCA関西支部の活動にご支援賜り誠にありがとうございます。

さて、構造設計一級建築士制度が創設されて、6年目を迎えました。一定規模以上の建築物の確認申請に、構造設計一級建築士の記名押印が求められるようになり、構造設計に対する責任の所在が明確になりました。また、東日本大震災以降、その責任の範囲も建物の構造部材だけでなく、非構造部材や建築設備にまで広がってきています。

その反面、建築コンクールなどの入選作品においては、意匠設計者と施工者だけが脚光を浴びて、構造設計者は日の目を見ない場合が少なくありません。建築物の構造設計に対する責任を担う者として、構造設計者にも光が当てられるべきだと思います。これからは、自分の構造設計ポートフォリオを作成し、もっと世の中にアピールしていきたいと思っています。

また、構造設計一級建築士の受験に必要な業務経歴に、確認申請書への氏名記載と設計図書への記名押印が求められましたが、氏名記載や記名押印できない構造専門事務所若しは一級建築士に配慮すべきだと思います。



関西支部 副支部長

展望ある活動に向けて
(株)日建設計
吉澤 幹夫

副支部長を拝命してから早くも1年が経ちました。昨年のStructure Kansai 7月号の新任挨拶では、次代を担う若手にとって構造設計が魅力的な職業と思える展望ある活動が重要と述べました。

関西支部では従前より若手技術者育成講座を毎年開催して、会員のみならず幅の広い若手の技術者が参加して構造設計について考えて議論して研鑽する場と機会を設けてきました。このような構造設計の楽しさを幅の広い若手技術者へ伝えていく草の根運動的な活動が非常に重要と考えます。

また関西支部で2009年度から開催している構造デザイン発表会においては、若手技術者が活発に発表される機会が増えてきており、喜ばしいことと思います。

今年度は法人化25周年を記念して本部および支部でイベントが開催されます。関西支部で11月に予定しているイベントは構造デザイン発表会を骨子として、基調講演会とパネルディスカッションを含めた企画としています。若手技術者をはじめ会員の皆様に研鑽の場を供することができるように努める所存です。皆様の積極的な御参加を期待しております。

定例研究会報告

「BIMなんてこわくない」

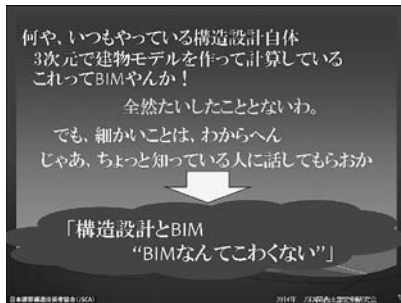


株式会社竹中工務店
池田 英美

■BIMなんてこわくない

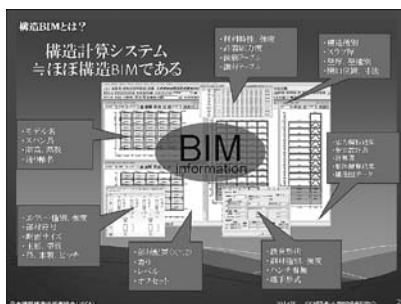
近年、建築業界では、BIMが生産性向上の手法として注目を集め、企画、設計、見積、施工、FMの様々な場面で活用が行われています。しかし、BIM (Building Information Modeling) とは、元来、コンピューター上の3次元建物デジタルモデルデータベースを様々な工程で活用するためのソリューションであり、我々がいつもやっている構造設計自体がBIMそのものであると言えます。すなわち、構造設計者にとってBIMは大したことなく、ちょっとしたコツや知識の習得によって、いつでも活用することが可能なのです。

JSCA関西定例研究会では「構造設計とBIM “BIMなんてこわくない”」と題して、構造設計の各分野のBIM経験者による講演会が行われました。



■構造設計におけるBIM

BIMの定義を教科書で見ると、設計・構造・設備・施工を統合したバーチャル建物ですと、書いていることが多いですが、BIMとは、単に建物情報のモデルを作ることです。我々構造設計者が作成する構造計算システムのデータは、ほぼ構造BIMであると言えます。また、国土交通省からは、BIMガイドラインが発行され、次年度から官庁営繕事業に適用されるなど、3Dデータの有用性は、より一層高まっていくと思います。

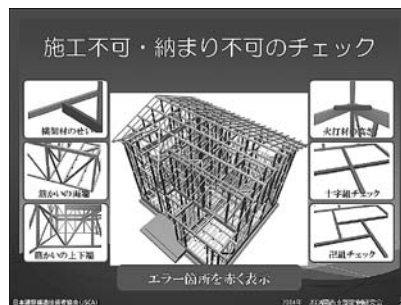


■構造計算ソフトの取組み

構造一貫計算ソフトは、データ変換用中間ソフトやST-Brigde形式でのデータ連動を順次リリースしており、市販3DCADへのデータ連携については、ほぼ準備ができています。また、3DCADでのデータ編集内容を構造計算ソフトへフィードバックするシステムも随時開発中です。

■木構造での実施例

木構造では、関係法令の改正によって、竣工建物と設計図書との一致が徹底されました。このような背景もあり、木材プレカット利用率は増加の傾向にあります。最近のプレカット機械は、平面図や立面図等を基に加工データを入力し、その情報をCAMに転送して自動的に切削することで加工精度の高い柱や梁、パネル等を生産することが可能です。今後、プレカット工場が構造チェックの業務の一部を受け持つようになり、構造設計とプレカットがより密接になることが考えられます。



■鉄骨協力業者とのBIM

BIMモデルを用いた原寸検査、ロール発注数量の算出、鉄骨協力業者専用CADとの相互リンクなど、鉄骨工事におけるBIMモデルの活用は増加しつつあります。また、3Dモデルによる質疑応答書、色分けによる進捗可視化、設備スリーブ調整など施工段階における可視化、コミュニケーションの深化が大きなメリットの一つです。今後、構造計算ソフトと3Dモデルとの連動により、解析モデルがそのままモデルに反映され、設計変更の検証を即座に実施できれば、計算書とモデルの不整合が無くなり、整合性に要する労力を削減できると思います。



■施工計画

施工段階においては、3Dモデルによるわかりやすさの利用、見える化による合意形成の迅速化が最大のメリットです。具体的には、BIMの活用によって、デジタル総合図、デジタルモックアップ、3D施工シミュレーションなど、これまでにはない、わかりやすいアウトプットが可能です。

施工段階における設備の干渉確認、鉄筋の納まり検討、免震層の地震時のクリアランスチェックなどの干渉チェックも行われています。BIMによる数量積算、3Dデータから2D施工図を切り出すことによる作成効率化なども行われています。



■構造BIMの未来環境

近い未来、構造設計のBIM環境は、3Dデータベースを中心とした業務フローに変わっていきます。3Dデータベースとすることで、アウトプット (=2D図面) を作りこんでいく時代からアウトプットを取り出す時代へ移っていくと思われます。そのためには、構造BIMの中心にオブジェクト3Dモデル (=構造DB) を置き、データをシームレスに成長させていく業務フローへ変えていく必要があります。このように、図面が完成しないと次の段階へ進めない現状の業務フローを、シームレスな3Dデータ構築および業務フローとすることにより、設計段階における3D重ね合わせを日常的に行うようになれば、フロントローディングによる構造設計業務の効率化は計り知れません。将来的には、確認申請や承認・契約が3Dデータで行われるようになれば、さらに3Dデータベースの重要性は増していき、2D図面は単なるスケッチや野帳の役割となる時代が必ず訪れます。





法制分科会活動報告

株 鴻池組
田邊 太一

■はじめに

このたび、法制分科会の主査を務めることとなりました田邊です。メンバーの協力のもと、充実した活動を行っていききたいと思います。

当分科会は、今年で発足11年目を迎えます。現在、9名のメンバーに参加いただき、2か月に1度の部会を開催しています。

■活動概要

「構造計算適合性判定業務の問題点」等の構造設計に関する話題から、「設計・施工・監理事故の賠償責任」に至るまで、建築法制にかかわる様々な問題について、具体的な資料やニュースを基に討論を行っています。

最近取り上げた主な話題は、以下のものです。

- ・朱鷺メッセ連絡橋落下事件
設計者の責任と設計・監理の問題
- ・建築基本法の制定
- ・ミューザ川崎・コストコ立駐スロープ落下事故等

■折田弁護士を迎えて

本年、2月19日の部会では、けやき法律事務所の折田泰宏弁護士をお招きし、「訴訟問題と構造設計者の責任」のテーマでお話を伺いました。折田弁護士は、前マンション学会会長で、マンション管理問題、欠陥住宅問題等を多数扱っておられます。

「建物瑕疵に関する損害賠償事例」「構造計算プログラムのバージョン変更による検定値の違い」「施工事故時の監理者と施工者の責任割合」等について意見交換を行いました。

ディスカッションの中で、『構造設計者も、構造専門家以外の人に対して、安全性や正当性を合理的に説明できる能力が必要となる。』旨の話が印象的でした。

■今後の活動

分科会内だけにとどまらず、建築法制の問題を広く会員に発信し、議論して行きたいと考えています。開かれた分科会を目指して、JSCA会員の皆様のご参加並びにご意見をお待ちしております。



木構造分科会活動報告

日本建築総合試験所
上田 尚延

■木構造分科会

木造建物の設計や改修、調査や実験等の日常活動の中の報告を中心に、議題を持ち寄りその中の疑問や新たな知見、感想等会員の皆様の参考や啓発になること等、約25名程度で楽しく意見交換を行っています。開催は2か月毎の偶数月第一水曜日にJSCA関西の会議室です。



木構造分科会

■見学会や拡大分科会

昨年7月には「大阪木材仲買会館」の木造耐火建築物を見学し、意匠や構造技術者との意見交換等も行っています。

拡大分科会は、昨年「歴史的建築物をめぐる動きと高砂神社能舞台新築工事の紹介」として、ヘリテージマネージャー制度の紹介等を行いました。

■木造住宅レビュー委員会への協力

木造住宅レビュー委員会への委員の推薦や、毎月第一水曜日(13:30~18:30)の木造軸組構法の限界耐力計算(耐震設計法)がマスターできる実務講習会への講師の派遣等にも協力しています。

木造住宅レビュー委員会は、限界耐力計算を用いた耐震設計(診断・補強設計・新築設計含む)につき限界耐力計算の正しい理解と、設計者によるミスやばらつきを防止を図っています。

京都市の「京町家の限界耐力計算による耐震設計および耐震診断・耐震改修指針」、大阪府や奈良県等にもJSCA関西木造耐震マニュアルが採用されています。京都市においては独自にレビューを行っており(本会会員を中心に)京町家の保全にも貢献しています。



木造住宅レビュー委員会と実務講習会

また、実務講習会では、テキストの作成協力も行い今年度からは初学者にもわかりやすい例題に沿った新テキストに改定し、受講者に好評を得ています。



JSCA関西支部 耐震設計分科会活動報告

株 竹中工務店
野澤 裕和

2014年4月より耐震設計分科会の主査を務めさせていただいております。現在、当分科会のメンバーは22名で、年間に4回程度のペースで活動を行っております。私が主査となってからの活動はまだ少ないので、今回は最近2年間での活動について報告いたします。

耐震設計分科会の活動方針は、耐震設計に関する最新情報の収集です。耐震設計とは、非常に幅広い内容なので構造形式や分野にとらわれず、比較的自由的な活動を行ってきています。

具体的な活動といたしましては、「百聞は一見にしかず」ということわざがあるように、現物を見る現場見学会や工場見学などを数多く実施してきております。

以下に最近の活動を報告いたします。

2013年3月は、日本ピラー工業株式会社(三田工場)の工場見学を実施させて頂きました。工場では建築で日頃よく使っているすべり支承の製造工程を見学いたしました。また、プラント等で使用する配管ガasketなど別分野での製品も見させて頂きました。

12月には、小規模ながらも、意匠と構造が上手く融合した建物として、竹中中大工道具館新築工事の現場見学会を実施し、2014年6月には、先進オフィスビルの見学会として、大阪市内某免震オフィスビルの見学会を実施いたしました。

見学会以外では、2014年2月に、新日鉄住金エンジニアリングさんをお招きし、最新の鋼材系のダンパーの紹介や設計法などについてご教授頂きました。

本年度も昨年に引き続き、最新の耐震設計に関する情報収集の場を提供し、幅広く活動を実施していききたいと思います。

また、本分科会では見学会や勉強会の活動の後に、メンバーの皆が本音で語り合える懇親会も実施しており、私自身、他社の先輩方からいろいろなアドバイスを頂ける場として非常に有意義に感じております。

耐震設計分科会では新メンバーも募集しておりますので、参加してみたい方は遠慮なく連絡下さい。以上で耐震分科会の活動報告を終わります。

『建築構造デザイナーの設計シリーズ —発送から展開まで—』 シンポジウム 報告



株式会社竹中工務店
大阪本店設計部
福本 晃治

1.はじめに

日本建築学会近畿支部構造力学部会が主催で、2014年1月27日(金)に京都芸文繊維大学60周年記念館記念ホールにて、『建築構造デザイナーの設計シリーズ—発送から展開まで—』と題されたシンポジウムが開催されました。

2.シンポジウムの概要

個人事務所、組織設計事務所、大学とそれぞれ立場や所属の異なる関西気鋭の4名の構造設計者が、自らの構造設計手法について語るシンポジウムでした。

■構造の三態—構造デザインの方法論—

満田 衛資氏

(満田衛資構造計画研究所)

■小さいからできること

橋本 一郎氏

(エス・キューブ・アソシエイツ)

■組織事務所の設計手法

加登 美喜子氏

(日建設計)

■みんなで作る小さな建築デザイン

永井 拓生氏

(滋賀県立大学)

■パネルディスカッション

3.各講演の概要

各講演とも講演者の想いが詰まった内容でしたが、僭越ながらも短く要約してお伝えします。

■構造の三態—構造デザインの方法論—

満田氏の講演は、「デザインの三態」という興味深い概念論から始まりました。デザインの世界では「昇華」という言葉をもって作品を賛美されることがあります。昇華とは固体が気体へ直接変化することですが、物質の三態(気体—液体—固体)に対し、デザインにおける三態を(本質—実態—具象)という言葉で置くことで、デザイ

ンのプロセスを説明することができると思います。菊竹清訓の唱えた(か—かた—かたち)を引き合いに出しながら、建築の三態(言葉・コンセプト—構造のあり方—模型スケッチ)と、構造の三態(安全性・構造原理—構造のあり方—断面諸量)を往還することで、建築の本質の純度を低下させない構造計画が可能になると論じられました。その後、満田氏が手掛けた中川政七商店新社屋をはじめとする優れた作品群の紹介がありましたが、その背景となるデザイン論は、改めて説得力のあるものだと感じました。

■小さいからできること

橋本氏が代表を務めるS³ Associatesは、住宅建築を多く手掛けられています。事務所名にある3つのSには、Sound(健全建築)、Sustainable(長生きする建築)、Something else(建築に固有の+α)の意味が込められており、在来工法をベースとした、分かり易くシンプルな構造を心掛けているそうです。作品事例として、「六甲の住宅」「兵庫の住宅」「KRAMPON」「榎木町通の町屋」の4件の紹介がありました。いずれも、在来工法でありながらも、小断面鉄骨部材の組み方、敷地の高低差の利用の仕方、大胆かつシンプルな合板の箱による耐震補強など、巧妙さや繊細さが光る作品ばかりでした。在来工法でありながらも創意工夫が冴える作品は小さい事務所だからこそできるのだ、と橋本氏は胸を張ります。事務所が掲げる3つのSに対する想いが伝わる講演でした。

■組織事務所の設計手法

比較的小さな建築を題材に講演された他の講演者に対し、「大きくて何が悪い!」という明朗な一声で講演を始められ、聴講者の興味を惹きつけました。組織事務所の最大の特徴は意匠・構造・設備部門が一事務所に存在することだとし、意匠・構造・設備(環境)のコラボレーションによるファサードデザインについて講演されました。紹介された建物は、ダブルスキンと免震構造を組合せた「ろうぎん肥後橋ビル」、ルーバー状の細い柱と庇をPCa-PC造で構成した「武庫川女子大学建築スタジオ」等でした。ファサードであり、換気システムでありながらも、構造体として機能

する、といった高次元な構成を実現されています。国内最大の組織事務所らしく、多彩な技術が惜しみなく導入されており、意匠・構造・設備が一体となった、チームエンジニアリングの総合力を窺い知ることができました。

■みんなで作る小さな建築デザイン

永井氏は、大学教員の立場で学生と共に手作りの建築を創作されています。講演では、竹を利用した「竹の会所」や「バンブーハウス」等の紹介がありました。「竹の会所」では、単に構造設計をするだけではなく、竹の採取・調達から始まり、その構造特性を実験的に検証し、手作りで学生と共に建築を組み上げていったそうです。その建築の創作を通じて、建築地である気仙沼の人々と学生との交流が豊かに促進されていく様子が、多くの美しい写真とともに紹介されました。一方で、毎年入れ替わる学生に技術を伝承していく難しさもあるようです。永井氏は、自然素材を用い、地域の人々と協働して建築を作る過程に、構造技術者としての根源的な役割があるといいます。構造技術者の原点とは何かを考えさせられる講演でした。

■パネルディスカッション

パネルディスカッションでは会場から学生を中心に多くの質問が挙がりました。「自身の設計物件で、耐震補強を必要とするものはあるか?」、「経済性と安全率をどのように考えているか?」、「津波に対する安全性をクライアントにどのように説明するか?」など、鋭い内容の質疑に熱のこもった議論が展開されました。

■おわりに

今回講演された4名の構造設計者は、各々立場や所属が異なり、同じ構造設計職能でも建築に対する取り組み方が異なり、興味深いものでした。シンポジウムの後の懇親会では、講演者の方々と直接、お話をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ゼネコンの構造設計者である私は、全ての講演者と立場が異なり、かつ年齢に近いこともあり、少なからず刺激を受けました。

やや乱暴な要約をお詫びするとともに、貴重なお話をいただいたことに改めて感謝します。

■JSCA関西支部2013年度事業報告書

(2013年4月～2014年3月)

- 1.2013年度支部総会 5/14 建設交流館 出席者55名(委任状296通)
- 2.支部幹事会 5/7, 11/22
- 3.四役会 4/19, 6/7, 7/26, 8/26, 9/27, 10/25, 11/22, 12/20, 1/10, 2/28, 3/28
- 4.事業委員会 4/23, 10/22
- 5.技術委員会 4/15, 6/18, 8/20, 10/15, 12/17, 2/18
- 6.広報委員会 4/18, 7/18, 10/16, 1/16
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/18, 5/16, 6/20, 7/18, 8/22, 9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/23, 2/19, 3/20
- 8.木造住宅レビュー委員会 4/16, 6/5, 8/7, 10/2, 12/4, 2/5
- 9.定例研究会 5/14 建設交流館「構造デザイン発表会」参加者172名
- 10.新年活動報告 1/17 建設交流館「話題の作品および構造実験講演会」参加者105名
- 11.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会
 - ・総会 10/19
 - ・幹事会 10/19
 - ・専門委員会 6/29, 10/19, 2/1
 - ・WG活動 WG1 8/19, 10/8, 3/12
WG2 8/27, 10/8, 12/20, 1/17, 1/20
WG3 5/31, 6/24, 9/20, 10/8, 11/11, 1/14, 3/24
WG4 5/31, 7/12, 10/7, 1/21
WG5 5/22, 6/12, 8/9, 8/13, 8/31, 9/11, 9/27, 12/17, 1/14, 1/21, 2/12, 3/12, 3/31
- 12.現場見学会 10/9 (仮称)大塚製薬大阪本部ビル 現場見学 参加者35名
12/11 国道25号御堂筋共同溝立坑工事 現場見学 参加者21名
- 13.支部報 Structure Kansai No.117, 118, 119, 120 発行

14.技術委員会各分科会

- ・金属系分科会 6/26, 10/29, 3/19
- ・構造計画分科会 6/27, 9/24, 12/25
- ・地盤系分科会 4/4, 6/6, 7/2, 7/11, 8/8, 10/8, 10/16, 12/2, 1/16, 3/12
- ・情報システム分科会 5/21, 7/9, 9/10, 11/12, 1/10, 3/11
- ・耐震設計分科会 7/26, 12/20, 2/13
- ・法制分科会 4/12, 6/5, 8/7, 10/4, 12/18, 2/19
- ・木構造分科会 4/3, 6/5, 7/5, 8/7, 10/2, 12/4, 2/5
- ・PC・工業化分科会 9/13, 12/5, 2/4
- ・RC分科会 4/9, 6/11, 7/30, 10/20, 12/10

15.技術委員会拡大分科会

- ・7/5「大阪木材仲買会館の設計について 見学会」(木構造分科会) 参加者45名
- ・7/30「大野義照大阪大学名誉教授講演会」(RC分科会) 参加者60名
- ・9/13「大規模なPC構造物のはなし」(PC・工業化分科会) 参加者35名
- ・1/16「既存地下構造再利用の設計事例と方策」(地盤系分科会) 参加者15名

16.サテライト活動

- ・京滋会 12/6 京都工芸繊維大学 小坂郁夫教授 講演会 参加者23名
「巨大地震と構造計算に関わる諸問題について」
- ・奈良会(活動なし)
- ・兵庫会(活動なし)

17.構造士更新定期講習会

- ・「震災に対する構造設計者としての取組み」8/3 科学技術センター 参加者135名

18.講習会

- ・「木造軸組構法の限界耐力計算(耐震設計法)がマスターできる実務講習会」 4/3, 6/5, 7/3, 9/4, 11/6, 12/4, 2/5 参加者76名
- ・「大阪府内の構造計算適合性判定に係る「よくある質疑事項の解説」に関する説明会」 9/27 参加者65名
- ・「スキルアップセミナー」 10/1 参加者19名
- ・「建築物の天井脱落対策に係る技術基準解説書DVD勉強会」 11/19, 11/22, 11/26, 11/29 参加者39名
- ・「若手技術者育成講座」 2/26 参加者27名
- ・「一貫構造計算プログラムの特性比較」 2/27 参加者85名

19.親睦会

- ・支部総会懇親会 5/14 参加者110名
- ・賀詞交歓会 1/17 参加者104名

20.研究受託

- ・「平成25年度京都市京町家耐震診断士養成講習会 テキスト作成」

21.他団体への委員・講師の派遣

委員の派遣

- ・神戸市「建築構造専門審査会」 瀬川輝夫, 久森敏平, 山田正人
- ・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」 近藤一雄, 田代靖彦, 森田秀喜
- ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
- ・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 松尾雅夫

- ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 小倉正恒, 近藤一雄, 安井雅明, 横田友行, 吉澤幹夫

- ・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 安井雅明
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 横田友行, 湧川寛洋
- ・京都市都市計画局建築指導部「京町家派遣耐震診断士講習会」 榎原健一, 野島千里, 田村佳英
- ・大阪府建築士会他「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 慶 祐一, 嘉村武浩, 嶋崎敦志, 谷口由乃, 藤井彰人, 水井勇人, 柳澤 信行
- ・大阪府建築士会他「既存鉄骨造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 新居 努, 澤井祥晃, 松本孝弘, 緑川 功
- ・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」 小倉正恒, 榎原健一, 野島千里, 榊田洋子, 横田友行
- ・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会」 榎原健一, 野島千里
- ・和歌山県建築士会「ヘリテージマネージャー養成講習会」 榎原健一
- ・鹿児島県建築士会「ヘリテージマネージャー養成講習会」 榎原健一
- ・尼崎市「建築技術研修会」 西崎隆氏, 野澤裕和, 前川元伸, 前田達彦, 村上陸太, 山本俊司

22.関連団体との交流

- ・在阪建築関連14団体事務局会議 9/9
- ・在阪建築関連14団体会長・支部長午餐会 10/22
- ・在阪建築関連15団体2014年新年交礼会 1/6
- ・在阪建築関連15団体事務局会議 2/6

■JSCA関西支部2014年度事業計画書(案)

(2014年4月～2015年3月)

- 1.2014年度支部総会 5/23 建設交流館グリーンホール
- 2.支部幹事会 5/13, 秋頃実施予定
- 3.四役会 4/25, 5/13, 6/27, 7/25, 8/29, 9/26, 10/24, 11/21, 12/19, 1/30, 2/27, 3/27
- 4.事業委員会 4/22, 秋頃実施予定
- 5.技術委員会 4/23, 6/17, 8/19, 10/15, 12/16, 2/17
- 6.広報委員会 4/17, 7/17 以降1回/各季 程度
- 7.構造レビュー委員会 随時実施予定
- 8.木造住宅レビュー委員会 随時実施予定
- 9.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/21 以降1回/月 実施予定
- 10.定例研究会 5/23 建設交流館グリーンホール
- 11.新年活動報告会 1月実施予定
- 12.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会
 - ・総会 秋頃実施予定
 - ・幹事会 秋頃実施予定
 - ・専門委員会 5/10, 8/23 以降随時実施予定
 - ・WG 随時実施予定
- 13.現場見学会 随時実施予定
- 14.視察研修 1回/年 実施予定
- 15.支部報 Structure Kansai No.121, 122, 123, 124 発行予定
- 16.技術委員会各分科会
 - ・金属系分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・構造計画分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・地盤系分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・情報システム分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・耐震設計分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・法制分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・木構造分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・PC・工業化分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・RC分科会 6回/年 程度実施予定
- 17.技術委員会拡大分科会
 - ・各分科会により1回/年 程度実施予定
- 18.サテライト活動
 - ・奈良会 1回/年 程度実施予定
 - ・京滋会 1回/年 程度実施予定
 - ・兵庫会 1回/年 程度実施予定
- 19.賛助会員技術交流会 随時実施予定
- 20.構造士更新定期講習会 7/26
- 21.講習会
 - ・「木造軸組構法の限界耐力計算(耐震設計法)がマスターできる実務講習会」 4/2 以降随時実施予定
 - ・「スキルアップセミナー」 夏頃実施予定
 - ・「JSCA構造設計若手実務者研修」 秋頃実施予定
 - ・「若手技術者育成講座」 2月実施予定

22.JSCA法人化25周年記念事業関西支部イベント 11/26

23.阪神淡路大震災20年企画 1月実施予定

24.親睦会

- ・支部総会懇親会 5/23 建設交流館
- ・賀詞交歓会 1月実施予定

25.研究受託 ・適宜

26.他団体への委員・講師の派遣

委員の派遣

- ・神戸市「建築構造専門審査会」 瀬川輝夫,久森敏平,山田正人
- ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 小倉正恒,近藤一雄,西村勝尚,安井雅明,横田友行,吉澤幹夫
- ・日本建築総合試験所「建築構造的評価委員会」 近藤一雄,田代靖彦,山浦晋弘
- ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
- ・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 松尾雅夫
- ・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 安井雅明
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行

・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 横田友行
- ・大阪府建築士会他「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 未定
- ・大阪府建築士会他「既存鉄骨造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 未定
- ・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」 未定
- ・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会」 樫原健一,横田友行
- ・和歌山県建築士会「ヘリテージマネージャー養成講習会」 樫原健一
- ・尼崎市「建築技術研修会」 未定

27.関連団体との交流

- ・建築関連15団体事務局会議 秋頃
- ・建築関連15団体会長・支部長午餐会 秋頃
- ・建築関連15団体2015年新年交礼会 1/5

■2014年度 関西支部 体制

●幹事

- 支部長 安井雅明 (大林組) :支部担当理事
- 副支部長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 副支部長 吉澤幹夫 (日建設)
- 幹事 森利男 (うらたつみ建築技研)
- 浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 神沢宏明 (鴻池組)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 佐藤啓治 (大成建設)
- 新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
- 田代靖彦 (日建設)
- 辻泰一 (鹿島建設)
- 榎田洋子 (桃李舎)
- 松村和夫 (松村構造計画)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 村上陸太 (竹中工務店)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)

- 監査 西村清志 (平田建築構造研究所)
- 福山國夫 (防災科学技術研究所)

- 支部顧問 角 彰 (日本建築総合試験所)
- 谷尾俊弘 (イオリ建築設計事務所)
- 辻英一 (安井建築設計事務所)
- 馬瀬芳知 (馬瀬構造設計事務所)
- 八木貞樹 (八木建築構造研究所)

- 事務局 嶋崎敦志 (大林組) 局長
- 伊藤祥二 (大林組)
- 岩佐裕一 (日本建築総合試験所)
- 貝谷淳一 (能勢建築構造研究所)
- 片山丈士 (竹中工務店)
- 神沢宏明 (鴻池組)
- 木下隆嗣 (東畑建築事務所)
- 辻泰一 (鹿島建設)
- 前川元伸 (竹中工務店)
- 山崎英一 (大成建設)
- 石原邦子 (JSCA大阪事務所事務長)

●技術委員会

- 委員長 村上陸太 (竹中工務店)
- 委員 福本義之 (大林組) --RC
- 大住和正 (大林組) --PC工業化
- 塚越治夫 (日建設) --金属系
- 野澤裕和 (竹中工務店) --耐震設計
- 佐分利和宏 (竹中工務店) --地盤系
- 篠原昌寿 (フレームワークス) --情報システム
- 藤井彰一 (大林組) --構造計画
- 田邊太一 (鴻池組) --法制
- 上田尚延 (日本建築総合試験所) --木構造

●広報委員会

- 委員長 田代靖彦 (日建設)
- 委員 慶祐一 (竹中工務店)
- 川正明 (鹿島建設)
- 大越敏夫 (K&K構造設計事務所)
- 金田興久 (日建設)
- 軸丸久司 (鴻池組)
- 田辺太一 (大林組)
- 中野裕和 (竹中工務店)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 柳石浩信 (イオリ建築設計事務所)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 山田細香 (山田建築構造事務所)
- 吉田聡 (日建設)

●構造レビュー委員会

- 委員長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
- 片山丈士 (竹中工務店)
- 榎原健一 (SERB)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
- 角 彰 (日本建築総合試験所)
- 辻幸二 (日本建築総合試験所)
- 北條稔郎 (北條建築構造研究所)
- 福國夫 (防災科学技術研究所)
- 政木武志 (フォーラムふおらえ)
- 榎田洋子 (桃李舎)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 森八木貞樹 (八木建築構造研究所)
- 安井雅明 (大林組)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 吉澤幹夫 (日建設)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 委員 上田尚延 (日本建築総合試験所)
- 大崎修 (大崎建築設計事務所)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 榎原健一 (SERB)
- 北山宏貴 (大林組)
- 四宮忠明 (竹中工務店)
- 鈴木直幹 (悠計画研究所)
- 田村佳英 (鳥羽瀬社寺建築)
- 鳥羽瀨公二 (野島建築設計事務所)
- 榎田洋子 (桃李舎)

●危機管理委員会

- 委員長 辻幸二 (日本建築総合試験所)
- 委員 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 渡辺 勸 (ラメラ設計)

●定期講習WG

- 片山丈士 (竹中工務店)
- 嶋崎敦志 (大林組)
- 吉澤幹夫 (日建設)

●耐震診断委員会関西西部会

- 部会長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 副部会長 嶋崎敦志 (大林組)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
- 片山丈士 (竹中工務店)
- 榎原健一 (SERB)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 辻幸二 (日本建築総合試験所)
- 福山國夫 (防災科学技術研究所)
- 政木武志 (フォーラムふおらえ)
- 峯隆俊 (峯構造技術研究室)
- 森田秀喜 (安井建築設計事務所)
- 八木貞樹 (八木建築構造研究所)
- 安井雅明 (大林組)
- 大崎修 (大崎建築設計事務所)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 福本早苗 (武庫川女子大学)

●編集委員会関西西部会

- 部会長 藤井正則 (大林組)
- 委員 大堀太志 (竹中工務店)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 佐藤啓治 (大成建設)
- 白沢吉衛 (日建設)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 太田寛 (鴻池組)

●事業委員会

- 委員長 小倉正恒 (清水建設)
- 委員 藤井正則 (大林組)
- 上田博之 (竹中工務店)
- 上森博 (日本設計)
- 塚越治夫 (日建設)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)

●事務局だより

1.支部総会

5月23日(金)13:30~14:30

2.四役会

2月28日(金)18:00~20:00

3月28日(金)18:00~20:00

4月25日(金)18:00~20:00

5月13日(火)17:30~18:30

6月27日(金)18:00~20:00

3.幹事会

5月13日(火)18:30~20:00

4.事業委員会

4月22日(火)18:00~19:00

5.技術委員会

4月23日(水)18:00~19:00

1.各分科会の活動報告

・主査の交代5分科会

・各分科会会員名簿の確認

2. JSCA 構造設計実務者研修
(基礎編)について

・各編の担当分科会の決定

3. その他

5月9日(金)17:15~18:00

定例研究会実施WG会.

1.発表資料確認

2.各担当者役割確認

3.その他

6.広報委員会

4月17日(木)18:00~19:00

1. Structure Kansai No.122号 編集会議

2. Structure Kansai No.123号 企画会議

7.耐震診断・補強判定委員会関西西部会

4月21日(月)18:30~20:00

耐震診断・補強計画判定の報告

5月15日(水)18:00~19:00

耐震診断・補強計画判定の報告

6月19日(木)18:00~20:00(予定)

耐震診断・補強計画判定の報告

8.木造住宅レビュー委員会

4月2日(水)17:30~18:30

1.実務講習会の運営について

2.実務講習会のテキスト改訂について

6月4日(水)17:30~18:30

実務講習会のテキスト改訂について

9.定例研究会

5月23日(金)14:45~17:45

「BIMなんて怖くない」

10.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会

○専門委員会及び総会

5月10日(土)14:00~18:00

1.各WGからの研究報告(WG1~WG5)

2.質疑応答

3.懇親会

○WG1(地震動作成)

3月12日(水)18:30~20:30

上町断層地震大阪市域外及び生駒断層帯地震の設計用入力地震動について

4月16日(水)18:30~20:30

生駒断層帯地震の設計用入力地震動について

6月18日(水)18:30~20:30 (予定)

上町断層地震大阪市域外及び生駒断層帯地震の設計用入力地震動について

○WG2(解析法)

4月28日(月)18:00~20:00

1.簡易液状化計算法について

2.地盤-杭-建物連成解析EENAPILEの計算事例

○WG3(RC系)

4月30日(水)18:00~20:00

1.制振補強検討について

2.限界状態Ⅱに対する設計法について

5月19日(月)18:00~19:00

魚骨モデルによる解析について

6月2日(月)18:00~20:00

1.制振補強検討について

2.限界状態Ⅱに対する設計法について

○WG4(S系)

4月2日(月)18:00~20:00

魚骨形モデルによる地震応答解析結果について

4月21日(月)18:00~21:00

魚骨形モデルによる地震応答解析結果について

CFT柱の破断限界回転角について

○WG5(免震構造)

3月31日(月)18:00~20:00

制動装置を用いた設計試算、設計指針

4月18日(金)11:00~12:00

設計指針

4月21日(月)18:00~20:00

制動装置を用いた設計試算、設計指針

5月28日(水)18:00~20:00(予定)

設計指針

11.現場見学会

6月19日(木)15:00~17:00

新・新ダイビル(仮称)新築工事

12.支部報

Structure Kansai No.121(2014.04)発行

Structure Kansai No.122(2014.07)発行(予定)

13.技術委員会各分科会

○地盤系分科会

3月12日(水)18:00~19:30

基礎ぐいの性能評価の現状と課題

6月12日(木)18:00~19:30

プロジェクト・技術紹介(1)

○RC分科会

2月25日(火)18:00~19:30

適合性判定における指摘事例

4月15日(火)18:00~19:30

過大入力を考慮した免震構造物

○金属系分科会

3月19日(水)18:00~20:00

「BIMと鉄骨製作に関する話題」

○耐震設計分科会

活動なし

○PC・工業化分科会

4月18日(金)18:00~20:00

1.「教養教育共同化施設(仮称)新築工事 PC工事報告」

2.「M'sCOREの設計・施工

ー壁版と床板のみで構成した

PCaPC造+免震構造ー」

7月17日(木)18:00~20:00(予定)

PC建物設計事例紹介(予定)

○木構造分科会

4月2日(水)18:30~20:30

1.主査・副主査の交代について

2.近況と実務講習会などについて

3.「住宅(小規模建築物)地盤の読み方」について

4.建基法(適判見直し)の状況報告について

6月4日(水)18:30~20:30

1.「伝統木造建物(神社拜殿)の設計と木材の監理」について

2.「京町家等の伝統的木造建築物に係る京都市の建築指導行政」について

京都市都市計画局 建築指導部

建築安全推進課 課長 高木勝英

3.「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業」について

京都市都市計画局 建築指導部

建築安全推進課 耐震改修促進係長

佐藤友彦

○法制分科会

4月16日(水)15:00~17:00

1.「適判」の質は向上するか、国交省が見直し案について

2.「適判見直しなど建基法が大改正へ」について

3.「先読み法改正2014」について

4.その他情報意見交換

6月18日(水)15:00~17:00(予定)

1.建築関係訴訟の現状と課題について

2.その他情報意見交換

○構造計画分科会

5月8日(木)18:30~20:00

「プレグラウトケーブルを用いたプレストレスト構造の設計と管理」設計事例紹介

○情報システム分科会

3月11日(火)18:00~19:30

「構造設計のBIM」について

7月16日(水)18:00~19:30

「BIMと確認申請」について

14.サテライト活動

○京滋会 活動なし

○奈良会 活動なし

15.講習会

一貫構造計算プログラムの特性比較

2月27日(木)14:00~17:00

16.懇親会

支部総会懇親会

5月23日(金)18:00~20:00

17.関連団体との交流

在阪建築15団体事務局会議

2月6日(木)10:00~11:00

●編集後記

お忙しい中、執筆にご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

冒頭掲載の姫路城は3年半ぶりに姿を現した状況を撮影したもので、すぐ横に素屋根解体作業中のクレーンが写っています。壁の漆喰を塗り直した事で以前より白くなっていますが、これが本来の姫路城の白さだそうです。来年3月にグランドオープンの予定です。

(大川、山田)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会
関西支部事務局

〒550-0003
大阪市西区京町堀1-8-31(安田ビル)

Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL http://www.mmjip.or.jp/jsc-kansai/